

## 国際大会出場部会・個人—2014年4月～2014年10月

### 第1回 大学世界アメリカンフットボール選手権大会

2014/5/1-11 スウェーデン・ウプサラ市  
 アメリカンフットボール部 甲斐 雄高 (法3)  
 ▶ 2位

### 第16回 アジアジュニア陸上競技選手権大会(2014/台北)

2014/6/12-15 台北  
 陸上競技部 川上 拓也 (法1)  
 ▶ 100M 優勝 ▶ 4×100M リレー (1走) 優勝  
 陸上競技部 坂梨 雄亮 (経1)  
 ▶ 400M ハードル 3位  
 陸上競技部 日吉 克実 (文1)  
 ▶ 200M 3位 ▶ 4×100M リレー (3走) 優勝

### 香港インターシティ陸上競技選手権大会 2014

2014/6/28-29 香港  
 陸上競技部 女部田 祐 (法3)  
 ▶ 100M 優勝

### 第12回 男子ラクロス世界選手権大会

2014/7/10-19 アメリカ・デンバー  
 ラクロス部 小澤 徹也 (商4)  
 ▶ 8位

### 第15回 世界ジュニア陸上競技選手権大会(ユージン・アメリカ)

2014/7/22-27 アメリカ・ユージン  
 陸上競技部 川上 拓也 (法1)  
 ▶ 100M 準決勝出場 ▶ 4×100M リレー (1走) 準優勝  
 陸上競技部 坂梨 雄亮 (経1)  
 ▶ 100M ハードル 準決勝出場

### 2014 World Rowing Under 23 Championships

2014/7/17-29 イタリア・バレーゼ  
 ボート部 林 靖晴 (商5)  
 ▶ 8位

### 第13回 世界学生バドミントン選手権大会

2014/7/24-29 スペイン・コルドバ市  
 バドミントン部 西本 拳太 (法2)  
 ▶ 団体 5位 ▶ 個人戦 16位

### IIHF U20 チャレンジカップ・オブ・アジア日本代表

2014/8/4-7 ロシア・ユジノサハリンスク  
 スケート部 笹淵 雅人 (総2)  
 小泉 智也 (法1)  
 坂本 颯 (法1)  
 ▶ 3位

### ロード U23 夏季欧州遠征 (8月)

2014/8/7-25 フランス、イタリア  
 自転車競技部 山本 隼 (商4)  
 ▶ フランス大会 5位

### 2014 MBC カップ

2014/8/11-15 韓国・光州  
 バレーボール部 関田 誠大 (法3)  
 ▶ 優勝

### AVC カップ (カザフスタン)

2014/8/18-24 カザフスタン・アルマトイ  
 バレーボール部 大竹 壱青 (商1)  
 ▶ 6位

### 第17回 アジア競技大会 (2014/仁川)

2014/9/20-10/3 韓国・仁川  
 バレーボール部 石川 祐希 (法1)  
 ▶ 2位

### 第17回 アジアジュニア男子選手権大会

2014/10/17-25 カタール・ドーハ  
 バレーボール部 石川 祐希 (法1)  
 大竹 壱青 (商1)  
 ▶ 5位

### 第3回 アジア U-23 競技大会 (2014/マニラ)

2014/10/10-15 フィリピン・マニラ  
 フェンシング部 水口 紘希 (法2)  
 ▶ 団体 3位

### 2014年フェンシングジュニアワールドカップブルガリア大会

2014/10/22-28 ブルガリア・プロブディヴ  
 フェンシング部 白井 寛夢 (法1)  
 後藤 駿弥 (法1)  
 ▶ 団体 10位

# プロ野球ドラフト会議で福田将儀選手が東北楽天ゴールデンイーグルスから3位指名、島袋洋奨選手が福岡ソフトバンクホークスから5位指名



## ■ 35年ぶりとなる複数指名

2014年10月23日(木)に行われたプロ野球ドラフト会議にて、硬式野球部の福田将儀選手が東北楽天ゴールデンイーグルスから3位指名、島袋洋奨選手が福岡ソフトバンクホークスから5位指名を受けました。

両選手がプロ野球志望届を提出したことを事前に告知したことから、ドラフト会議の様子を放映する会場の多摩キャンパスCスクエア中ホールには、37社にもおよぶテレビ、新聞等マスコミ各社が詰めかけました。また、ホールに入りきれないほどの多くの学生、支援者が集いました。地上波の放映は、12球団の1位指名が一巡したところで終了しましたが、Cスクエア中ホールでは引き続き、CS放送でドラフトの様子を流し、二人が指名される瞬間を待ちました。

先に名前を呼ばれたのは、東北楽天ゴールデンイーグルスから3位指名を受けた福田選手。CSの中継を中断し、記者会見を行いました。福田選手の会見が終わり、中継を再開した直後、島袋選手が福岡ソフトバンクホークスから5位指名を受けました。指名後の会見で島袋選手は、「順位ではなく、指名していただいたことに感謝したい」と、ほっとした表情で語りました。

本学にとって複数名の在学生在がプロ指名を受けるのは35年ぶりのこととなり、二度にわたる歓喜の瞬間に立ち会うこととなった会場は、長い時間興奮状態が続きました。

## ■ 指名挨拶

ドラフト会議から1週間後の10月30日(木)、本学多摩キャンパスにて、福田、島袋両選手がそれぞれ球団から指名の挨拶を受けました。

福田選手は「足を活かした守備と攻撃を見てほしい。パ・リーグの球場はどれも広いので1年でも長く、息の長い、必要とされる選手になりたい」と目標を掲げました。

また、福岡ソフトバンクホークス・王会長のサインボール、色紙を受け取った島袋選手



野球部部員たちに担がれガッツポーズの福田将儀選手(左) 島袋洋奨選手(右)



王会長からの色紙を手に

は「先発、中継ぎ、抑えを問わず、ここでお前が行ってくれと思われるようなピッチャーになりたい」と述べました。ソフトバンクからは「甲子園で春夏連覇を果たした投手として、九州でも人気が高い。大学時代は苦しんだが、本来、彼が持っている能力の高さを考えてプロで必ず活躍してくれると思い指名した」と期待を込めたコメントがありました。



楽天球団から挨拶を受ける福原紀彦学長(当時)、秋田秀幸監督、福田選手

## <両選手プロフィール>

**福田 将儀** (ふくだまさよし)  
 【所属学部】 商学部商業・貿易学科4年  
 【ポジション】 外野手  
 【出身校】 習志野高校  
 【誕生日】 1992年4月17日  
 【身長/体重】 174 cm / 76 kg  
 【投打】 右右

**島袋 洋奨** (しまぶくろようすけ)  
 【所属学部】 商学部経営学科4年  
 【ポジション】 投手  
 【出身校】 興南高校  
 【誕生日】 1992年10月24日  
 【身長/体重】 173 cm / 71 kg  
 【投打】 左左



中央大学のバックパネルの前で固く握手する両選手

全国大会優勝部会・個人—2014年4月～10月

第60回 全日本学生ウエイトリフティング個人選手権大会

2014/5/9-11 大阪・羽曳野市立総合スポーツセンター

重量学部 権田 達也 (法3) ▶ 56キロ級 優勝



第62回 全日本学生剣道選手権大会

2014/7/6 東京・日本武道館

剣道部 梅ヶ谷 翔 (法1) ▶ 優勝

第66回 全日本大学準硬式野球選手権大会

2014/8/12-17 岡山・倉敷マスカットスタジアムほか

準硬式野球部 ▶ 優勝



平成26年度 全日本学生ジムカーナ選手権大会

2014/8/22-23 三重・鈴鹿サーキット国際南コース

自動車部 ▶ 男子団体 優勝

自動車部 多田 康治 (理4) ▶ 男子の部 優勝

平成26年度 全日本学生自動車連盟年間総合杯

自動車部

▶ 団体 (男子) 優勝

全日本学生運転競技選手権大会、全日本学生ジムカーナ選手権大会、全日本学生ダートトライアル選手権大会の3大会の順位による合計獲得点数にて決定

第70回 全日本大学対抗選手権自転車競技大会

2014/8/28-31 静岡・日本サイクルスポーツセンター

自転車競技部 宮本 隼輔 (経2)

▶ 男子スプリント 優勝

自転車競技部 黒瀬 耕平 (法4) 緑川 峻一 (法4)

高士 拓也 (法3) 原井 博斗 (法1)

▶ 男子4Km チーム・パーシュート 優勝

日本学生新記録および大会新記録樹立

第83回 日本学生陸上競技対校選手権大会

2014/9/5-7 埼玉・熊谷スポーツ文化公園陸上競技場

陸上競技部 森 誉 (文2) ▶ 男子やり投げ 優勝

陸上競技部 諏訪 達郎 (法2) 谷口 耕太郎 (商2)

猶木 雅文 (法3) 女部田 祐 (法3)

▶ 4×100M リレー 優勝

女子陸上競技部 青木 栄美花 (文4)

▶ 女子走高跳 優勝



第69回 国民体育大会

2014/10/11-17

長崎・雲仙市吾妻体育館

ボクシング部 但馬 ミツロ (商2)

▶ 成年男子ライトヘビー級 優勝

## 全国大会優勝部会・個人—2014年4月～10月

### 第90回 日本学生選手権水泳競技大会

2014/9/5-7 神奈川・横浜国際プール

水泳部 ▶ 学校対抗(団体)優勝

水泳部 内田 仁(法4) 砂間 敬太(法1)  
 大本 鷹志(経2) 矢野 貴寛(総4)  
 ▶ 男子400Mリレー優勝

### 第65回 全日本学生バドミントン選手権大会

2014/10/24-30 愛知・一宮市総合体育館

バドミントン部 ▶ 男子団体 優勝

バドミントン部 西本 拳太(法2)  
 ▶ 男子シングルス 優勝



### バレーボール部石川祐希選手、益々の躍進に期待



バレーボール部に所属する石川祐希選手(法1)が、2014年12月から3か月間にわたり、イタリアバレーボールリーグ、セリエA所属「パッラヴォーロ・モデナ」に短期派遣されることが決定しました。星城高等学校(愛知)時代は、史上初となる高校総体、国体、高校選手権の2年連続3冠達成を果たしており、本学入学直後の今春には全日本に初めて招集され、韓国・仁川で開催されたアジア大

会では、主力の一人として存在感を示し、銀メダル獲得の原動力となりました。2020年に開催される東京五輪に向けて、「やるからにはメダルを取りたいと思っている。今回のイタリアでの経験を日本に持ち帰り、日本のバレーをもっと発展させたい」と力強い思いを語っています。イタリア派遣の記者会見には、26社のメディアが集まり、注目度の高さがうかがえました。



石川祐希(法1)：イタリア派遣発表記者会見にて